

## 第4回市民公開講座

# ユマニチュードという革命

**日時** 2016年8月7日(日)  
13:00-16:20

**会場** 上智大学10号館講堂  
東京都千代田区紀尾井町6-2

**基調講演**

**ユマニチュードという革命** 同時通訳  
ケア技法の創始者ふたりが語るその哲学

フランス ジネスト・マレスコッティ研究所  
ロゼット・マレスコッティ  
イヴ・ジネスト

**シンポジウム ケアの科学的分析と実践**

- 認知症情報学から考えるケア分析  
静岡大学情報学部 石川翔吾
- IT技術をケアの学びへ  
デジタルセンセーション株式会社 坂根裕
- 科学的分析に基づいたケアの実践  
医療法人社団東山会 調布東山病院看護部
- 総合討論  
司会 静岡大学情報学部 竹林洋一 イヴ・ジネスト

入場無料・参加事前登録制 申し込み：<http://seizon.umin.jp/>

主催：公益財団法人生存科学研究所・上智大学・国立病院機構東京医療センター

# 第4回 市民公開講座 「ユマニチュードという革命」

## 開催にあたり

高齢者へのケアの重要性が高まる中で、ケアを必要とするひと、とりわけケアの受け入れが困難な状態にあるひとに、穏やかにケアを受け入れてもらうにはどうすればよいのかについて、施設でも家庭でも試行錯誤が続いています。

フランスで生まれ、36年の実績をもつケアメソッド・ユマニチュードは、知覚・感情・言語による包括的なコミュニケーションに基づくケアの技法で、ケアの現場が直面している問題に対する解決策のひとつとして注目され、初めて日本へ紹介されてから4年がたちました。

今回4回目となる市民公開講座では、この技法の考案者であるロゼット・マレスコッティとイヴ・ジネストのふたりがユマニチュードの根底に流れる哲学を存分に語ります。さらに総合討論ではケア技法の導入に欠かすことのできない客観的な分析評価と教育、現場への導入について専門家・実践者と語りあいます。

**プログラム** 2016年8月7日（日）

**会場のご案内**

**12:00 開場**

**13:00 開会の辞**

青木清 公益財団法人 生存科学研究所 理事長

**13:05 基調講演**

「ユマニチュードという革命」  
ユマニチュードの導入とその成果  
ロゼット・マレスコッティ  
イヴ・ジネスト

ジネスト。マレスコッティ 研究所

**14:35 休憩**

**14:50 シンポジウム**

「ケアの科学的分析・評価と実践」

石川翔吾・坂根裕・調布東山病院看護部

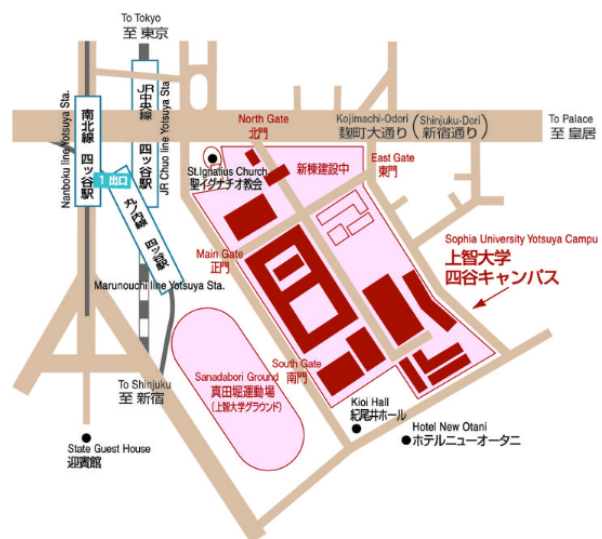
総合討論

司会：竹林洋一 イヴ・ジネスト

**16:20 閉会の辞**

武田純三 国立病院機構 東京医療センター 院長

● 四谷キャンパスアクセスガイド  
Yotsuya Campus Access Guide



最寄り駅：四谷駅

JR 中央線・総武線

東京メトロ 丸ノ内線・南北線

## 公益財団法人 生存科学研究所

本研究所は、急速な科学の進歩により生じる新たな危機から人類をまもるため、凡ゆる領域から総合的に『生存』問題に取り組む研究所として、医師会会長を長く務めた故武見太郎先生により1984年に設立されました。その活動はホームページ (<http://seizon.umin.jp>) に掲載されています。会員は生存科学に関する自主研究を様々な視点から行い、講演会、シンポジウム、あるいは学術誌「生存科学」を通じ、広く一般の方々とその成果を共有するよう努めております。

## 上智大学

本大学は1908年にキリスト教 カソリック イエズス会が日本に西洋の高等教育機関を設立するために独仏英の3カ国の神父を日本に送り、1913年4月に東京の紀尾井町に誕生しました。それは世界に開かれた大学としての役割があります。本学の教育精神は「Men and Women for Others, with Others」です。ここでのOthers は社会で最も助けを必要としている人々や貧しさ以外に何も持たない人々を支援することです。

## 国立病院機構東京医療センター

当院は患者のみならずともに健康を考える医療の実践を理念とする総合病院です。1884年に海軍軍医学校第二付属病院として誕生し、その後1945年に国立東京第二病院、2004年に国立病院機構東京医療センターと名称を変更し現在に至ります。感覚器疾患の高度専門医療施設の機能をもつ一方、地域社会の健康を支える地域医療支援病院でもあります。とりわけ総合内科は総合診療の分野では日本でも有数の歴史と規模を有し、老年医学にも力を入れています。